

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月11日 更新

事務事業名		水道事業維持管理事業 (管路)			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健全		所属部	水道局	課長名	大塚 勝己
	施策	17	水の保全・安定供給		所属課	水道課	担当者名	飽本 哲平
	業務分野	59	水の安定供給		所属班	水道班	(内線)	5244
予算科目	会計企業	款	項	目	事業連番	法令根拠	地方公営企業法、水道法、合志市水道事業給水条例	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	水道事業(旧簡易水道事業を含む)において整備された配水施設(配水管等)の機能を保持し、安定的な配水を行なうための事業である。昭和37年度から着手した水道(簡易水道)事業により、清浄にして豊富かつ低廉な水の供給を図り、公衆衛生の向上と生活環境の改善を目指し、計画的に整備された配水施設(配水管等)を適切に維持管理するために事業を開始した。水道使用者数は、本市の人口増加に伴い増加傾向にあることから、それに伴う給水装置工事申請(メーター支給等)及び工事完了(検査)事務も増加している。 また、配水施設(配水管等)の老朽化等により漏水が頻発しており、破損等の発生に応じて補修する応急修繕はもとより、積極的に漏水箇所を探索し改善に結び付ける漏水調査等も行なう事業である。
【業務の流れ】	①水道事業給水条例第4条(給水装置の新設等の申込み)の規定による給水装置工事申請受付(内容審査、メーター貸与等)及び完了後の工事台帳による検査事務を行う。②配水施設(配水管等)について、漏水等の発生による配水管及び給水引込管等の漏水等箇所の確認及びその修繕対応、漏水及び破損箇所を原形復旧するための現地確認、修繕等に係る工事等の発注、その他必要な契約・作業立会・結果報告・改善等の事務を行う(ただし、使用者(所有者)の責任により維持管理すべき部分を除く)。③漏水の復旧対策について、破損等の発生(目に見える漏水)に応じた応急修繕はもとより、積極的に漏水箇所を探索し改善に結び付ける漏水調査業務を行う(年1回、地域を定めて専門業者に委託する。契約・作業立会・結果報告・改善等の事務)。④緊急の漏水補修対応に備え資機材を備蓄し修繕に活用するため、資機材の調達(単価契約)事務及び在庫管理事務を行う。⑤水道配水管や給水装置台帳の適切に管理するために水道台帳システムを導入しており、その適切な保守・更新等の事務を行う。
【主な予算費目】	(款)1. 水道事業費用(項)1. 営業費用(目)2. 配水及び給水費 (委託料、修繕費、材料費)

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

①令和6(2024)年度は12月末時点で約840件の給水装置工事申請を受け完了分の検査を行った。②令和6(2024)年度は12月末時点で約400件の配水施設(配水管等)の漏水等対応事務を行なった。③周期的に選定した地域を対象に漏水調査委託業務を行った。④資機材の備蓄管理のため単価契約を行い漏水修繕等に活用した。

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)

①給水装置工事申請受付・検査事務 ②配水施設(配水管等)の漏水対応事務 ③漏水調査事務 ④資機材備蓄管理事務 ⑤水道台帳システムの保守・更新事務

③予算の主な増減の理由

漏水件数の増が見込まれることに伴い、漏水調査範囲及び修繕費の増。また漏水修繕費の単価が増となったため。

成果指標

漏水補修等により断水した回数

(単位)

データ取得方法

回

成果指標・総事業費の推移		単位	4年度 実績(決算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	6年度 実績(決算)	7年度 目標(当初予算)	8年度 予定	9年度 見込	10年度 見込
成果指標	漏水補修等により断水した回数	回	9	9	50	6	50	50	50	50
事業費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	49,124	54,792	62,982	69,771	87,258			
	繰入金	千円								
一般財源	千円									
(A) 事業費計	千円		49,124	54,792	62,982	69,771	87,258	0	0	0

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

漏水補修等により断水した回数は目標を達成した。配管技術や補修資機材の進歩によるほか、配水本管等の布設替えが進んできたことが向上の要因と考えられる。しかし、漏水補修等による断水の回数は、最終的に0に近づけることが目標であり、それに向け鋭意努めていく。

(4)今後の事業の方向性

廃止  縮小  事業のやり方改善  現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)